

昭和大学附属烏山病院

発達障害検査入院のご案内

大人の発達障害が社会に広く知られるようになり、ご自身の生きづらさの原因が発達障害によるのではないかと心配される方が増えています。

昭和大学附属烏山病院では平成19年に発達障害専門外来を開設しました。

社会的認知が広まり、新聞やテレビで紹介されたこともあって、当院の発達障害専門外来の受診や、デイケアへの参加を希望される方は増加の一途をたどっております。そのため、皆様のご希望にに応じることができず、多大なるご不便をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。私どもも、できるだけ多くの皆様の希望に応えるように努力していますが、十分な知識をもつ医療スタッフの養成には時間がかかるため、現状では限界があることをご理解いただければと思います。

皆様のご不便を少しでも解消するため、発達障害の診断を目的とした検査入院セットを用意し、専任の臨床心理士を配置しました。外来では半年待ちとなっている心理テストを入院期間中に結果まで迅速にお伝えすることができます。

当院のデイケアでは、発達障害専門プログラムを行っています。参加条件として当院での発達障害確定診断が前提となります。また、対象者になっても1年程度お待ちいただいているのが現状です。発達障害検査入院では、発達障害専門プログラムを体験できるようにしました。そのほか、以下の特徴があります。



発達障害検査入院は、2週間で、発達障害の有無を診断することが目的で、心身の健康状態を確認しながら、心理検査を行います。2週間のプログラムの中では、デイケアの発達障害専門プログラムも体験できます。



発達障害検査入院のスケジュールはゆったりとしたプランとなっており、日常生活から自分自身を見つめ直す時間を設けております。個室をご利用いただきますので、ご自分だけの空間を確保することができます。



お一人での入院が不安な場合にはお申し出ください。ご家族の希望と医師の許可がある場合は、付添での入院も可能です。



問い合わせ先

総合サポートセンター（月曜～金曜 9:30～17:00）

電話 03-3300-5329（直通）

※土曜、日曜、祝日、創立記念日（11月15日）、年末年始を除く